

アクセス・お問い合わせ

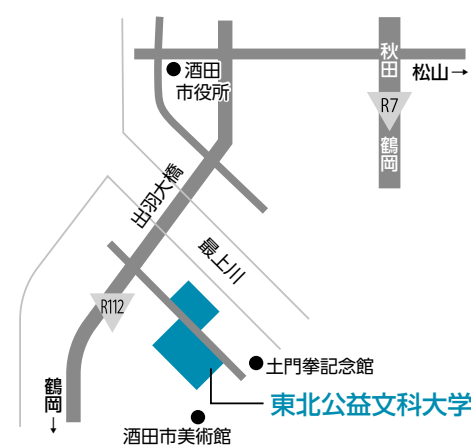
●東北公益文科大学大学院 鶴岡キャンパス



アクセス・所要時間

庄内空港から車・バス	約30分
鶴岡駅から車・バス	約10分
鶴岡ICから車	約10分
山形駅から高速バス	約1時間30分
仙台駅から高速バス	約2時間30分

●東北公益文科大学 酒田キャンパス



アクセス・所要時間

庄内空港から車・バス	約20分
酒田駅から車・バス	約10分
酒田ICから車	約10分
山形駅から高速バス	約2時間30分
仙台駅から高速バス	約3時間30分



地域共創コーディネーター 養成プログラムのご案内

～庄内地域に対話と協働をひろげるために～

東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science

地域共創センター

〒998-8580 山形県酒田市飯森山3-5-1
TEL 0234-41-1115
E-mail : kyoso@koeki-u.ac.jp

東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science

地域共創コーディネーター養成プログラム運営委員会

平成30年3月13日 発行

地域共創コーディネーター養成プログラムの目的

少子高齢化、人口減少が進む庄内地域の課題解決のためには、より多くの人の対話と参画が求められています。本プログラムでは、多様なメンバー間の対話を進めることができる「ファシリテーション」と、多様なメンバーによる連携や協働による課題解決の実践を仕掛けることができる「コーディネーション」の力を身に付けた「地域共創コーディネーター」の養成を行います。

これまでに、山形県内外の行政職員、地域おこし協力隊員、市議会議員、会社員、NPO職員、医療関係者、コミセン職員、学部生、大学院生など20代から60代の55名の修了生を輩出しており、職業、年齢、性別など多様な立場の方々がともに学び合える場となっています。修了生はプログラムを通して身に付けた知識やスキル、ネットワークを様々な地域やフィールドにおける実践に結びつけ、地域のリーダーとして活躍をしています。

開講の経緯

- ◆平成25年度：東北公益文科大学が文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(COC事業)の採択を受け、地域課題解決に貢献できる地域人材育成のための「庄内地域カレッジ」を立ち上げる。(地域リーダー育成部会)
- ◆平成26年度：鶴岡市、庄内町、三川町の協力を得て共同研究「人口減少時代の自治体職員研修の開発に関する研究－庄内地域における官民連携・協働による地域課題解決に向けて－」(研究代表者：和田明子)に取り組む。(COC地域課題基礎研究・プロジェクト型研究)

- ◆平成27年度：地域共創コーディネーター養成プログラム構築事業(鶴岡市補助事業)の下で検討委員会を設立し、プログラム内容に関する企画に取り組む。(検討委員会メンバー：鶴岡市、酒田市、NPO法人ぼらんたす、庄内ちえりあ、東北公益文科大学、他)
- ⇒2015年12月～ 地域共創コーディネーター養成プログラム検討委員会始動
- ⇒地域人材育成のためのプラットフォームによるプログラムの企画と運営

以来、大学、行政、NPO、企業など多様な立場の運営委員が20回以上にわたる会議を重ね、今、庄内地域において求められる人材育成プログラムの検討及び企画、ファシリテーションとコーディネーション力を身につけ、向上させるための方法の研究・検討、講座の運営方法の検討、受講生・修了生の活躍の場の確保・提供、さらなるステップアップ・プログラムの企画と運営に取り組んでいます。

講師陣紹介



日本ファシリテーション協会フェロー
九州大学大学院統合新領域学府客員准教授
加留部 貴行 氏



東北公益文科大学
伊藤 真知子 教授



東北公益文科大学
武田 真理子 教授



まちづくりファシリテーター
山形県地域コミュニティアドバイザー
稲村 理紗 氏



NPO法人ぼらんたす
理事・事務局長
栗原 穂子 氏



認定NPO法人
日本ボランティアコーディネーター協会
代表理事
唐木 理恵子 氏

講座スケジュール *平成30年度の予定

		4月～9月	10月～1月	2月～3月
地域共創コーディネーター養成コース	ファシリテーション研修	東北公益文科大学大学院公開講座「共創の技法」 第1講 4月14日(土) 第2講 5月12日(土) 第3講 6月9日(土) 第4講 7月21日(土) 第5講 8月4日(土) レポート作成・提出 ◎鶴岡会場(東北公益文科大学 鶴岡キャンパス)	●ファシリテーション、コーディネーションの実践 ●フォローアップ講座 ●修了証書授与式 10月19日(金)	●ふりかえりワークショップ ●次年度の実践準備など
	コーディネーション研修	ボランティアコーディネーションカ3級検定 第1回事前学習会 8月22日(水) 第2回事前学習会 8月29日(水) 直前研修・試験 9月8日(土) ◎酒田会場(東北公益文科大学 酒田キャンパス)	第2講 10月13日(土) 第3講 10月14日(日) 第4講 12月未定(土) 第5講 1月未定(土) ●実践活動	●修了証書授与式 ●ふりかえりワークショップ
地域共創コーディネーターマスター養成コース		東北公益文科大学大学院公開講座「合意形成・コーディネーション論」 第1講 9月29日(土)	◎鶴岡会場(東北公益文科大学 鶴岡キャンパス)	



平成29年度の講座内容

～ファシリテーション研修～



4月15日 開講、ガイダンス



「共創の技法」第1回講義 加留部貴行先生「ファシリテーションとは」



5月13日 「共創の技法」第2回 ファシリテーション技法の演習



ファシリテーション・グラフィックの練習



6月10日 「共創の技法」第3回 グループワークによるワークショップの企画・立案



7月29日 「共創の技法」第4回 5つのグループが企画・立案した模擬ワークショップの実践



8月5日 「共創の技法」第5講 ふりかえり&ワールド・カフェ「庄内に新しい価値を生み出すために」



～コーディネーション研修：ボランティアコーディネーション力3級検定～

「人と人」、「人と組織」、「組織と組織」の間に新しいつながりを生み出していく力、「ボランティアコーディネーション力」をより多くの人が発揮できることを目指し、認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会が平成21年より実施している「ボランティアコーディネーション力3級検定」を通してコーディネーション研修を実施しています。

2回の事前学習会と直前研修を通して、「ボランティアとはなにか?」、「市民の参加と協働とはなにか?」というボランティアコーディネーションに関する基礎的な知識を学べます。

●事前学習



講師

特定非営利活動法人
ぼらんたす
栗原穂子氏、岩浪武司氏
佐藤美恵氏、佐藤一子氏

●直前研修



講師

認定特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会代表理事
唐木理恵子氏

～修了生によるファシリテーション、コーディネーションの実践～

地域共創コーディネーター養成プログラムの修了生は、プログラムで修得したファシリテーション力やコーディネーション力を地域、職場等の様々な現場で活かし、活躍をしています。

<平成29年度までの成果>

- ★受講生一人ひとりのスキルアップ
(対話、ファシリテーション、連携・協働の方法、コーディネーションに関する知識など)
- ★受講生同士のつながり (垣根を越えた相互理解と協働)
- ★新たな人材育成プログラムの創出、参画
- ★地域課題解決のフィールドへの受講生の派遣

<修了生の実践の紹介>

- 「CoCoサロン庄内」の企画・運営
- 「デートDV予防ファシリテーター養成講座」の企画・運営及び高校等におけるファシリテーションの実践
- 山形県酒田市日向地域における防災・地域づくりワークショップの企画・運営
- 秋田県「県央地区C・net交流会」の企画・運営
- 秋田県にかほ市「10年後のかほを語ろうセミナー」講師・ファシリテーター
- 山形県「田川地区生徒会リーダー研修会」、その他、高校生向けワークショップの企画・運営及びファシリテーター
- 酒田市総合計画未来会議の企画・運営及びテーブルファシリテーター
- 鶴岡市総合計画市民ワークショップ「つるおか未来カフェ」におけるテーブルファシリテーター
- 山形県庄内総合支庁「ワタシが生きるライフワークサロン」のグラフィッカー
- 山形県尾花沢市「徳良湖の未来を考えるワークショップ」の企画・運営
- 山形県「活力ある地域づくり推進事業」のワークショップの運営及びテーブルファシリテーター

受講生の声

●平成28年度修了生

() 内は受講当時の所属

佐藤 光さん(東北公益文科大学3年生)



酒田市の高校生と社会人が交流するワークショップのファシリテーション・グラフィックを担当

<受講した理由>

対話を上手く進められるようなスキルとワークショップを進める上でのルールや情報のまとめ方など様々な手法について学び、地域づくりのためのスキルを身に付けたいと考え、受講しました。

<受講して良かったこと>

多様な人たちと対話をしながらファシリテーションについて学ぶことで、ワークショップを行う際のポイントを理解することができました。また、模擬ワークショップを通して主体性と協調性のスキルを身につけられたと思います。

<受講を機に取り組んだ活動等>

山形県教育庁庄内教育事務所の「青年による持続可能な地域づくり推進事業」、「田川地区生徒会リーダー研修会」をはじめ、庄内地域の高校生を対象としたワークショップの企画、運営とファシリテーションに数多くチャレンジしました。

佐藤 陽介さん(酒田市職員)

<受講した理由>

業務において酒田市総合計画策定等に携わることとなり、自ら地域に関わり、市民参画を促進することが求められることから受講を希望しました。

<受講して良かったこと>

これまでも理論を学ぶ機会はありませんでしたが、模擬ワークショップ等で、実際に体験することができたことが良かったと思います。

<受講を機に取り組んだ活動等>

同じく受講生の日向コミュニティ振興会事務局の工藤さんからのご紹介で、日向地域での今後の事業を考える住民参加型ワークショップでファシリテーターをやらせていただきました。その他、酒田市総合計画未来会議、鶴岡市総合計画「つるおか未来カフェ」などでも運営やテーブルファシリテーターとしての実践を重ねています。



多様な参加者の意見を引き出すテーブル・ファシリテーターとしても活躍

渡部 久美子さん(鶴岡市職員)



「つるおか未来カフェ」にて高校生の意見を引き出し、グループワークの進行役を務める

<受講した理由>

現在の担当が地域コミュニティと密接に関わっており、仕事をする上で、また地域等において大変参考になると思い、受講したいと思いました。

<受講して良かったこと>

さまざまな立場の方に出会えたこと。その輪の中に参加出来たこと。人の数だけ、多様な意見があり、その思いを受け止めつつ、方向性を見つけていく手法と楽しさを学ぶことができました。

<受講を機に取り組んだ活動等>

担当地区の相談を受けて、養成講座で知りあえたNPOさんをつなぎ、クロスロード・ワークショップを開催。また、地域づくりビジョン策定のためのワークショップ運営の支援に取り組んでいます。

●平成29年度修了生

() 内は受講当時の所属

伊藤潤一郎さん(尾花沢市職員)



酒田市総合計画未来会議でもテーブルファシリテーターとして市民の意見を引き出す役割として活躍

<受講した理由>

・ファシリテーションの理論を学び、市民ワークショップの企画開催につなげること。
・ファシリテーション・グラフィックの習得。
・意見を引き出す質問力の向上を目的として受講。

<受講して良かったこと>

学びを深め、「徳良湖の未来を考えるワークショップ」を開催することができたこと、特にプロセスデザインとプログラムデザインについて、意識して企画、開催につなげることができたことは自信につながった。

<受講を機に取り組んだ活動等>

「徳良湖の未来を考えるワークショップ」の市民意見報告会での全体ファシリテーター役、業務やイベント実行委員会でのホワイトボードの活用や意思決定しやすくするためにフレームワークを活用している。

粕谷 香織さん(鶴岡市社会福祉協議会職員)

<受講した理由>

日々の仕事で“対話の場をもっと効果的なものにしたい”“ファシリテーションスキルをあげたい”と思っていた時、この開講チラシと出会い、受講を即決しました。

<受講して良かったこと>

自己のスキルアップはもちろんですが、同業者だけでなく、行政、地域おこし協力隊、学生、コミュニティ組織やNPOで活動する方など、多様な方々と一緒に学べたことは楽しく貴重な経験でした。

<受講を機に取り組んだ活動等>

受講前は、対話に向けた準備が伝え方や進行方法に向きがちでしたが、相手にどう伝わるか、目的の明確化や話しやすさの演出も重視できるようになり、試行錯誤ではありますが仕事に活かしています。



参加者同士がお互いの話を聴き、意見を交わすワークショップにて

清野 康子さん(鶴岡市第一学区生涯学習推進員)



鶴岡市内の様々な対話の場でファシリテーターとして活躍

<受講した理由>

進行役を務めるにあたり、ひとそれぞれ違う考えを引き出し、それを受け止め、全体にわかりやすく伝えるスキルを学び身につけるため、そして参加者が満足できる進行ができるようになるために受講しました。

<受講して良かったこと>

講義を受けるだけではなく、自分達でワークショップの企画・実践をすることで、自分の得意分野や弱点が見えました。ワークショップ形式の授業が多く、自分の意見も述べられましたが、多くの人の考えも知ることができました。

<受講を機に取り組んだ活動等>

地域のコミセンの行事や鶴岡市総合計画市民ワークショップ「つるおか未来カフェ」においてテーブル・ファシリテーターを務めたり、活躍の場が増えています。